

# 「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」 に関するアンケート実施報告

「住みやすさ、地域への愛着についての満足意識」に関するアンケートの実施結果を下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきましたe - モニターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

## アンケート概要

### アンケート実施期間

平成21年4月15日から平成21年4月30日まで

### 意見募集の結果

対象者数 1,598名

回答者数 1,133名

回答率 70.9%

### 回答者属性

性別 【男性】614人 54.2% 【女性】519人 45.8%

### 年代別

【20代】	【30代】	【40代】	【50代】	【60代】	【70代以上】
148名	282名	262名	235名	147名	59名
13.1%	24.9%	23.1%	20.7%	13.0%	5.2%

### 地域別

【北勢】	【伊賀】	【中南勢】	【伊勢志摩】	【東紀州】
504名	110名	317名	157名	45名
44.5%	9.7%	28.0%	13.9%	4.0%

### 産業・業種別

農林漁業	20名	1.8%
製造業	169名	14.9%
商業・サービス業	188名	16.6%
建設・不動産業	72名	6.4%
運輸・通信業	43名	3.8%
金融・保険関係	29名	2.6%
医療・福祉関係	68名	6.0%
教育・保育関係	49名	4.3%
公務員	48名	4.2%
学生	23名	2.0%
無職	291名	25.7%
その他	133名	11.7%

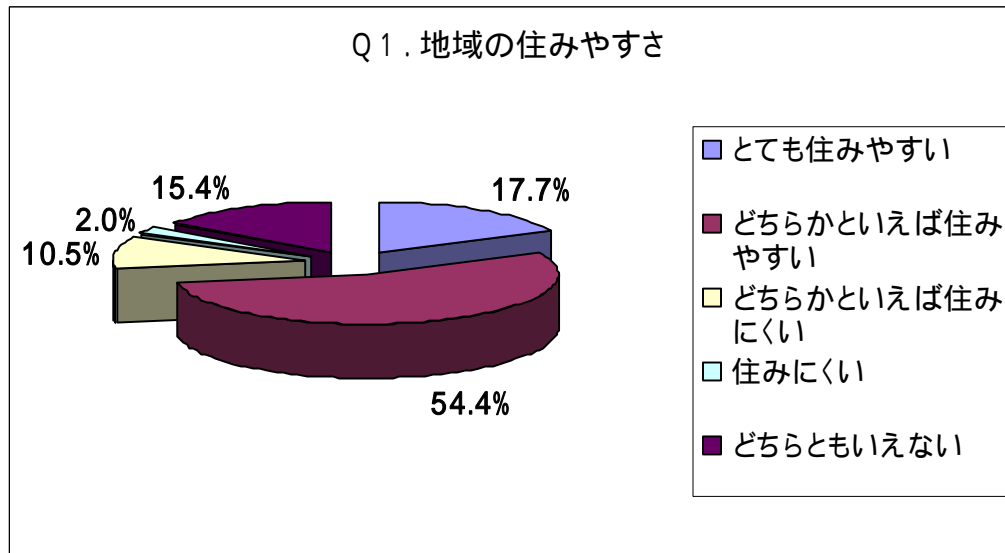
## アンケート結果を受けて

### 設問1 地域の住みやすさ

現在お住まいの地域について、「とても住みやすい」が17.7%、「どちらかといえば住みやすい」が54.4%と「住みやすい」とお答えいただいた方が72.1%でした。

また、「どちらかといえば住みにくい」が10.5%、「住みにくい」が2.0%と「住みにくい」とお答えいただいた方が12.5%でした。

なお、「どちらともいえない」とお答えいただいた方は15.4%となっています。



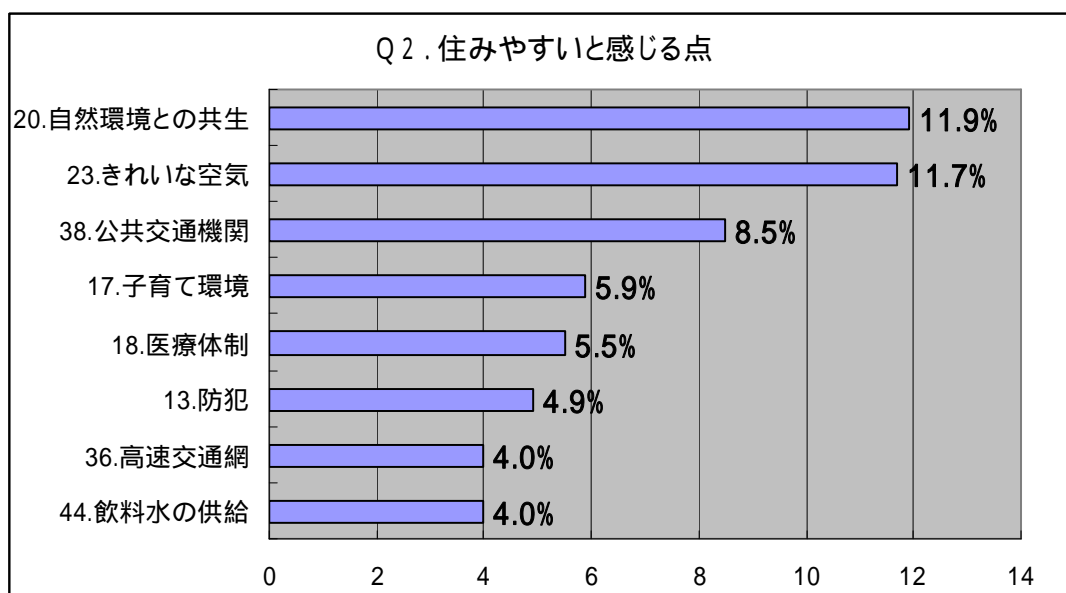
### 設問2、4 住みやすいと感じる点及び選択した理由

住みやすいと感じている方が満足していると考えられる部分については、「自然環境との共生」が11.9%と最も多く、次いで「きれいな空気」(11.7%)、「公共交通機関」(8.5%)の順となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。

上位8項目の内、「自然環境との共生」、「きれいな空気」や「飲料水の供給」の自然環境が3項目、「公共交通機関」や「高速交通網」の交通面が2項目あげられています。

「自然環境との共生」、「きれいな空気」を選択した理由として、「山、川、海などの自然に恵まれ、生活環境が良い。」などの意見がありました。

また、「公共交通機関」を選択した理由としては、「鉄道の駅が近い。バス停留所に近い。本数が多い。」などの意見がありました。

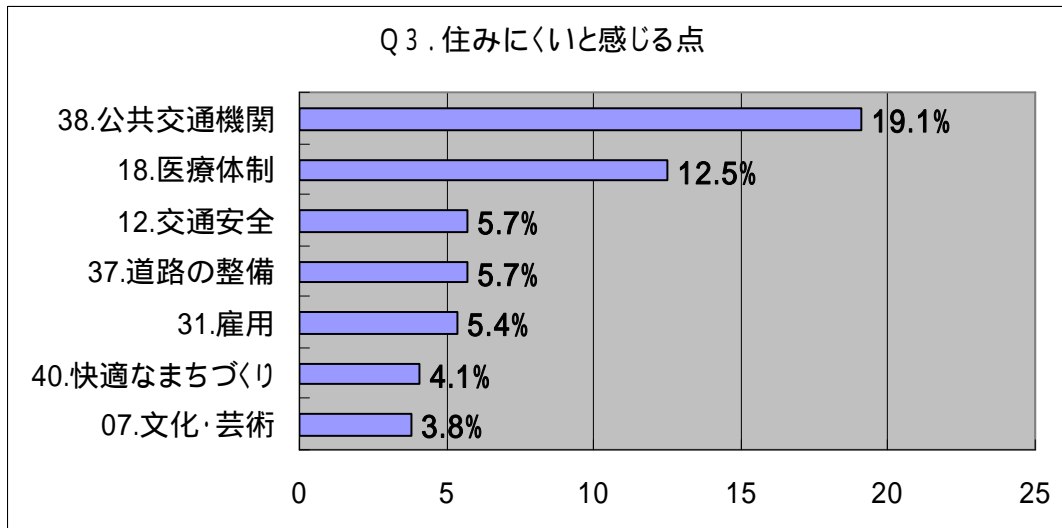


### 設問3、4 住みにくいと感じる点及び選択した理由

住みにくいと感じる方が不足していると考える部分については、「公共交通機関」が19.1%と最も多く、次いで「医療体制」が12.5%となっており、これら2つの項目が他と比較して多くなっています。これらに次ぐものとしては、「交通安全」(5.7%)、「道路の整備」(5.7%)などがあげられていますが、「公共交通機関」「医療体制」の上位2項目以外で不足していると考える部分については、大きな違いはありませんでした。

「公共交通機関」を選択した理由としては、「駅まで遠い。電車、バスの本数が少ない。料金が高い。」などの意見がありました。

また、「医療体制」を選択した理由としては、「近くに病院がない。救急医療体制が整っていない。」などの意見がありました。

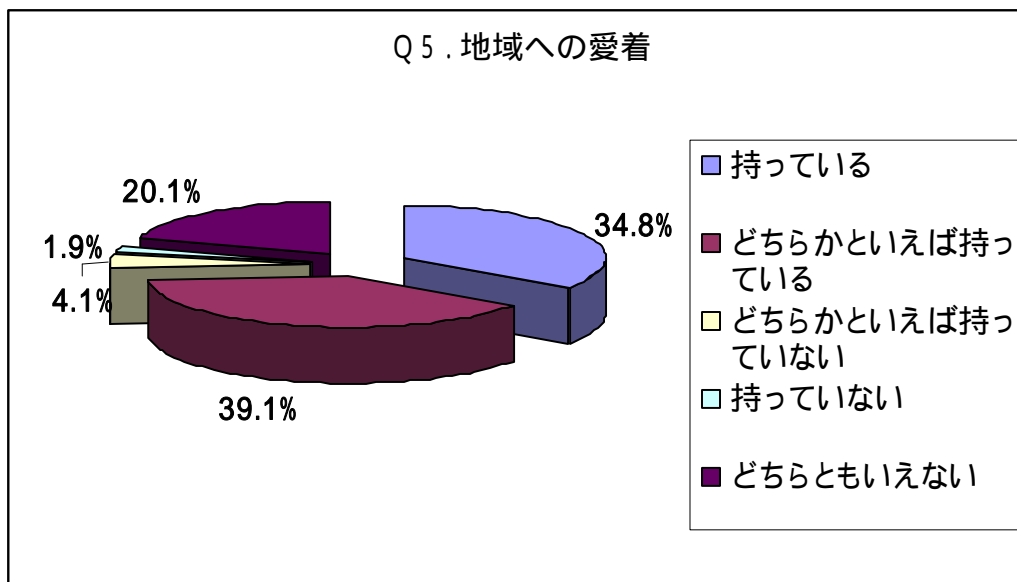


### 設問5 地域への愛着

現在、地域への愛着について、「持っている」が34.8%、「どちらかといえば持っている」が39.1%と「持っている」とお答えいただいた方が73.9%でした。

また、「どちらかといえば持っていない」が4.1%、「持っていない」が1.9%と「持っていない」とお答えいただいた方が6.0%でした。

なお、「どちらともいえない」とお答えいただいた方は20.1%となっています。

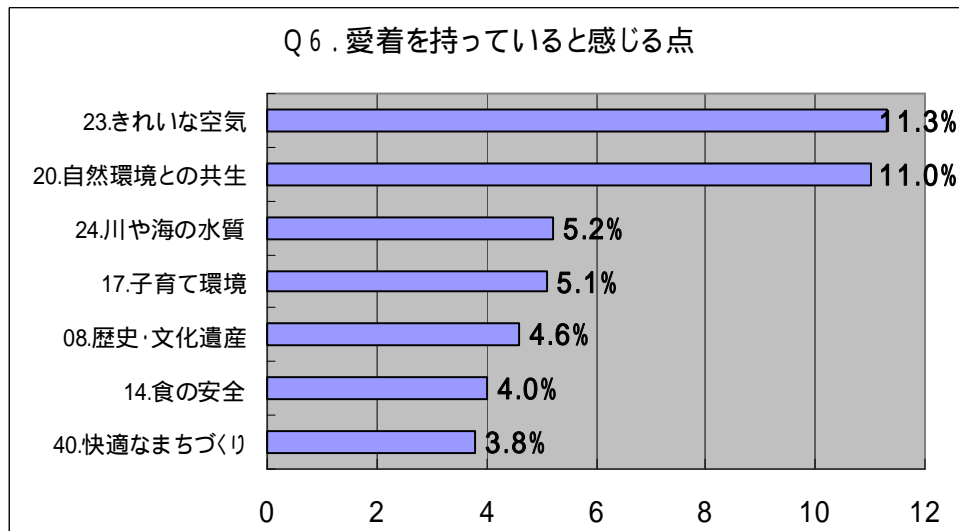


### 設問6、8 愛着を持っていると感じる点及び選択した理由

愛着を持っていると感じる方が満足していると考える部分については、「きれいな空気」が11.3%と最も多く、次いで「自然環境との共生」(11.0%)の順となっており、これら2つの項目が他と比較して多くなっています。

これらに次ぐものとしては、「川や海の水質」(5.2%)、「子育て環境」(5.1%)などがあげられていますが、「きれいな空気」「自然環境との共生」の上位2項目以外で不足していると考える部分については、大きな違いはありませんでした。

「きれいな空気」「自然環境との共生」を選択した理由としては、「生まれ育った場所で、自然が多い。」などの意見がありました。



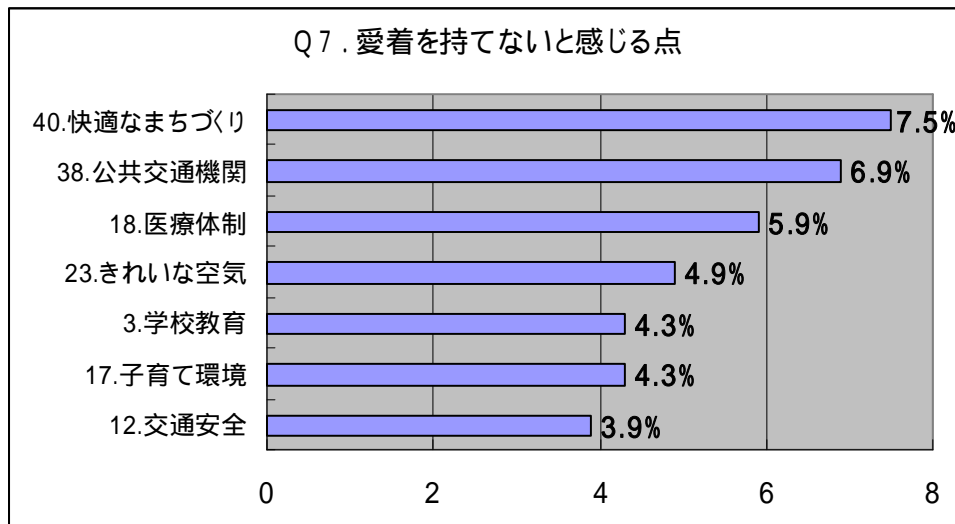
### 設問7、8 愛着を持っていないと感じる点及び選択した理由

愛着を持っていないと感じる方が不足していると考える部分については、「快適なまちづくり」が7.5%と最も多く、次いで「公共交通機関」(6.9%)、「医療体制」(5.9%)となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。

これらに次ぐものとしては、「きれいな空気」(4.9%)、「学校教育」(4.3%)などがあげられていますが、「快適なまちづくり」「公共交通機関」「医療体制」の上位3項目以外で不足していると考える部分については、大きな違いはありませんでした。

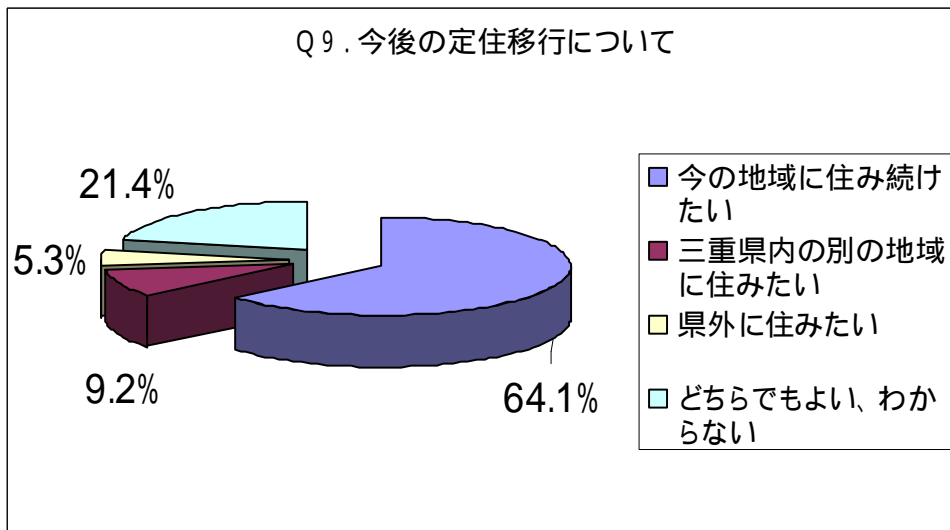
「快適なまちづくり」「公共交通機関」を選択した理由としては、「充実した公共施設がない。公共交通機関が少ない。」などの意見がありました。

「医療体制」を選択した理由としては、「医療機関が充実していない。」などの意見がありました。



設問9 今後の定住移行について

「今の地域に住み続けたい」と答えた方の割合は64.1%、「三重県内の別の地域に住みたい」と答えた方の割合は9.2%、「県外に住みたい」が5.3%、「どちらでもよい、わからない」が21.4%となっています。



設問10 「美(うま)し国おこし・三重」の認知度について

「美(うま)し国おこし・三重」の取組について、「取組の内容を知っている」が23.9%、「あまり知らない」が59.8%、「知らない」が16.2%となっています。

